



2025年2月☆

43号



きゃんせ！えびの通信

【発行元】えびの市移住・定住支援センター

「きゃんせ！えびの通信43号」をご覧いただきありがとうございます。2025年も、えびの市移住・定住支援センターをどうぞよろしくお願いたします。

裏面では、「まちの人の声」インタビュー記事を掲載しますのでぜひご覧ください。今年、「まちの人の声」のインタビューをたくさんの方にお聞かせいただきたいと思います。自薦他薦は問いません。ぜひインタビューさせてください！
よろしくお願いたします！



2024年11月～12月

■センター利用の状況

問い合わせ件数・・・155件
移住者数・・・5世帯（8人）

■空き家バンクの新規登録状況

空き家登録数・・・7件
空き地登録数・・・1件
利用希望者登録数・・・6人

移住者住宅取得支援金

えびの市への移住者（転入から2年を経過していない者）が自己の居住を目的に住宅を取得（新築・新規購入）した場合に、経費の一部を住宅取得支援金として交付します。

また、中学生までの子供がいる場合は、加算金があります。

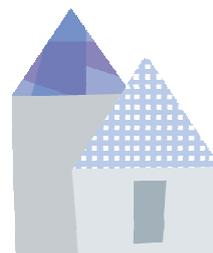
【支援金額】経費の10%

※市内業者を利用して住宅を新築又は新規購入した場合（上限500,000円）

※上記以外の場合（上限300,000円）

【子育て加算金】100,000円／1人（上限200,000円）

お問い合わせ先 企画課 定住対策係 0984-35-3713（直通）



空き地（売却）情報

※ 詳細を知りたい方は「空き家バンク利用登録」が必要です！

🍵 空き地 No.107<内堅>

希望条件：売却 200万円

敷地面積：1,007㎡（宅地）



🍵 空き地 No.044<原田>

希望条件：売却 200万円

敷地面積：661㎡（雑種地）



空き家バンク登録や、移住・定住についての相談など、
お気軽にお問い合わせください♪

えびの市移住・定住支援センター ☎ 0984-27-3242





まちの人の声インタビュー

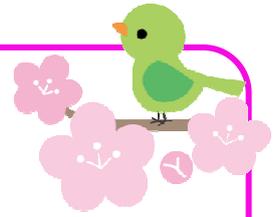


上原 聖さん

えびの在住歴：27年

職業：パート

家族構成：夫婦・愛猫（3匹）



都市部にはない自由さを

楽しめる方にはオススメです！

現在、どのような暮らしをされていますか？

えびのは私の生まれ故郷です。一人暮らしになってしまった祖母の面倒を見るために、鹿児島からUターンしてきました。祖母が亡くなったら鹿児島に戻るつもりだったのですが、えびのの住みやすさに気が付きそのままえびのに。今は実家で夫と猫と暮らしています。

“えびの”で暮らしてきてよかったこと、たいへんなことは何ですか？

たいへんなことと言えば、高校進学で鹿児島に移って20年ぶりの帰郷だったので、初めは土地勘がほとんどなかったことですね。そして、田舎の戸建ては意外と草刈りなど維持管理がたいへんです。よかったことは、鹿児島生まれの夫にも言葉の壁は全くなかったため、地域のみなさんともすぐに打ち解けられたことと、アクセスが良いのであちこちに出かけやすいことです。

“えびの”の魅力、好きなところを教えてください。

「便利な田舎」なところですね。生活に必要なものは揃いますし、どこに行くにも遠くはない、高齢者も多いので知らないことはすぐに教えてもらえるのも魅力だと思っています。

私が住んでいる地域は、家を建てる若い人がとても多くて子どもたちも増えて賑やかになってきています。

“えびの”でお勧めの休日の過ごし方を教えてください。

自然豊かな盆地なので夏は暑く冬は寒い（笑）。私は、ドライブやツーリングで標高の高い場所に行くのが好きです。えびの高原には雪を見に行きますし、高野地区や矢岳高原、クルソン大橋、霧島地区は平地では見られない季節の移ろいを感じられます。

これから“えびの”へ移住を考えている人に一言お願いします。

都市部にはない自由さを楽しめる方にはオススメです。

昔ながらの丈夫な住宅を手に入れて、思い通りのステキな住空間を作るもの良いですし、広いお庭で大抵の趣味は楽しめると思います。工夫次第では、お金のかからない生活が可能なので、心身ともに豊かに暮らすことができるのではないのでしょうか。



2023年9月インタビュー



きゃんせえびの
ホームページ



えびの市移住・定住支援センター

〒889-4292

えびの市大字栗下1292 えびの市役所3階

電話 0984-27-3242

メールアドレス ebino-iju@aioros.ocn.ne.jp

相談時間 平日 8:30~17:15

フェイスブック
ページ

